

新町70周年記念

写真で振り返る 白い森の国おぐに No.3



③古田地区の七夕行事（昭和32年7月）

短冊に願い事を書いて笹竹に飾り、その成就を願う七夕は現在も行われている伝統行事です。昭和32年の七夕行事を写したこの写真からは、子どもたちが行事を楽しむ姿とともに、当時の古田分校周辺の様子をうかがうことができます。

この行事に参加していた木村勝美さんは「七夕飾りの笹竹は古田分校のみんなで作り、校舎に飾った記憶があります。この写真は当時、古田分校で3・4年生の担任をしていたフナコシ先生の呼びかけに集まった古田地区の子どもが、分校前の道を通って金目川に笹竹を流しに行くところです」と当時の様子を教えてくださいました。

※取材にご協力いただいた古田地区の皆さま（順不同）

佐藤透さん、木村一衛さん、木村勝美さん、木村裕一さん、安部隆利さん